

熊本博物館ニュース

2021年10月



企画展〈特別展示室1・2・3〉

「未来へつなぐ植物の記録」

～令和2年7月豪雨で被災した前原勘次郎の植物標本～

会期:2021年10月2日(土)～11月28日(日)

令和2年7月豪雨により人吉城歴史館が浸水被害を受け、熊本出身の植物学者・前原勘次郎(1890-1975)によって収集された3万点を超える植物さく葉標本(同館所蔵)が被災しました。

損傷や腐敗、カビの発生などによる標本の状態悪化を防ぐため、全国の博物館や大学などに緊急支援が呼びかけられ、クリーニングや乾燥、適切な条件下での保管など、標本のレスキュー活動が行われました。

本展では、当館が携わった標本レスキュー作業の様子や、前原氏が採集した貴重な植物標本を写真とともに展示・紹介いたします。



特別展示室1 被災した植物標本のレスキュー活動

災害発生後の取り組みや活動状況、当館が実施したレスキュー作業や被災した標本について紹介します。

特別展示室2 標本が伝える地域の自然

被災した標本の中から、主に人吉や球磨地域で採集された標本を展示します。

特別展示室3 未来へつなぐ熊本の植物

前原氏が熱心に収集した数多くの植物標本。当時から今も熊本に残る貴重な植物の標本を写真とともに紹介します。

企画展関連イベント

ミュージアムトーク (展示解説)

日時 10月3日(日)

11月3日(水・祝) いずれも14時～14時30分

※13時45分より受付開始

会場 特別展示室1

定員 各回20名

参加費 無料(ただし、当館入場料が必要です。)

さく葉標本作製体験講座

日時 10月16日(土) 14時～15時

会場 熊本博物館 実験・工作室

定員 20名(要事前申込。申込者多数の場合は抽選となります。)

参加費 無料(ただし、当館入場料が必要です。)

申込方法 熊本博物館 HP 申込専用フォームまたは、往復はがきによりご応募ください(10月8日必着)。

当選者にのみ10月9日(土)までにお知らせいたします。

往復はがき郵送先 〒860-0007 熊本市中心区古京町3-2

押し花グッズを作ろう

日時 11月7日(日) ①14時～14時30分 ②15時～15時30分

会場 熊本博物館 実験・工作室

定員 20名(要事前申込。申込者多数の場合は抽選となります。)

参加費 無料(ただし、当館入場料が必要です。)

申込方法 熊本博物館 HP 申込専用フォームまたは、往復はがきによりご応募ください(10月29日必着)。

当選者にのみ10月31日(日)までにお知らせいたします。

往復はがき郵送先 〒860-0007 熊本市中心区古京町3-2

子ども科学・ものづくり教室

風船CDホバークラフトを作ろう

日時 10月9日(土) ①10時30分～11時30分

②13時30分～14時30分

③15時～16時

場所 熊本博物館「実験・工作室」

対象 小中学生(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 各回20人(応募多数の場合は抽選)

費用 入場料(熊本市内の小中学生は名札等の提示で無料)

申込締切 9月29日(水)必着

往復はがき郵送先 〒860-0007 熊本市中心区古京町3-2

空気を吹き出しながら平らな台の上を滑らかに進む「科学工作」を楽しみましょう。



葉脈標本で「しおり」を作ろう

日時 10月23日(土) ①10時30分～11時30分
②13時30分～14時30分

場所 熊本博物館「実験・工作室」
対象 小中学生(小学3年生以下は保護者同伴)
定員 各回20人(応募多数の場合は抽選)
費用 入場料(熊本市内の小中学生は名札等の提示で無料)
申込締切 10月13日(水)必着
往復はがき郵送先 〒860-0007 熊本市中央区古京町3-2

植物の葉脈をラミネート加工し、「しおり」を作ります。



箱の中に虹を作ろう Part.2

日時 11月6日(土) 13時30分～15時
場所 塚原歴史民俗資料館
対象 小中学生(小学3年生以下は保護者同伴)
定員 20人(応募多数の場合は抽選)
費用 入館料(熊本市内の小中学生は名札等の提示で無料)
申込締切 10月26日(火)必着
往復はがき郵送先 〒861-4226 熊本市南区城南町塚原1924

分光シートを使って、箱の中に自分の好きな形の虹をかけてみましょう!



申し込み方法

教室名・住所・氏名・学年・電話番号を明記し熊本博物館 HP 申し込み専用フォームまたは往復はがきでお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。

(※1日に複数回実施のイベントは、希望時間帯も明記)

プラネタリウムの投映案内

新番組

ブラックホールを見た日

投映期間 10月30(土)～2月13日(日)

世界中の科学者たちが協力し、ブラックホールの撮影に挑みました。その名もイベントホライズン望遠鏡。ブラックホールの謎に迫り、たくさんの電波望遠鏡の力をまとめあげて貴重な画像を手にするまでを追体験していきます。目撃したブラックホールは、どんな姿をしていたのでしょうか? 人類100年の挑戦の旅にでかけましょう。



天文講演会

「希望と喜びをお届け! 宇宙ステーション補給機「こうのとりの」

日時 10月23日(土) 15時～16時30分(14時45分開場)
講師 三品 博昭氏 (崇城大学工学部宇宙航空システム工学科)
場所 熊本博物館プラネタリウム
定員 85名
費用 入場料(熊本市内の小中学生は名札等の提示で無料)
申込 不要(当日12時より受付にて整理券配布)

今回の天文講演会では、地球を周回飛行しているISSと宇宙ステーション補給機「こうのとりの」について、わかりやすく紹介します。「こうのとりの」の打ち上げやISSへの接近方法を解説するほか、今後の新型宇宙ステーション補給機 (HTV-X) の予定や将来の展望についても紹介します。また、ロケット打ち上げ風景やISSから見た地球の景色なども紹介いたします!

※当館主催のイベントは新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって中止・延期になることがあります。HP 等で直前の情報をご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 企画展 「未来へつなぐ 植物の記憶」 (~11/28)
3 企画展 ミュージアムトーク	4 休館	5	6	7	8	9 子ども科学①
10	11 休館	12	13	14	15	16 さく葉標本作製 体験講座
17	18 休館	19	20	21	22	23 子ども科学② 天文講演会
24	25 休館	26	27	28	29	30 プラネタリウム 新番組スタート
31	熊本博物館ニュース 第195号 〒860-0007 熊本県熊本市中央区古京町 3-2 TEL:096-324-3500 FAX:096-351-4257					

